

その他相談状況の説明

①CLの相談の核（問題）

- 1) 今後どうしたらよいか分からない
- 2) 受けるかどうか迷っている
- 3) 自信が持てず今後のこと相談したい
- 4) 出向を言われ、心配や不安があり今後のこと相談したい
- 5) 仕事辞めた方がいいかと思うがどうしたらよいか悩んでいる

その他相談状況の説明

第2段階の質問は
ここを手厚く聞くこと

相談者が感じている問題
= 表面化している
= 顕在化している

その原因
は何か？

CCの見立て

から
原因の問題に
気づきを与える

③

②CCの考える（問題）=①の原因&解決を阻害している

- 1) 上司の信頼を失ったとの思い = 思い込み(仕事への理解不足)
- 2) 両親の世話は妻に任さざるを得ない&できない = 思い込み・理解不足
- 3) 仕事と育児は両立ができないと思う = 思い込み・理解不足
- 4) 出向したら解決できない問題が発生するとの考え = (同上)
- 5) 仕事と介護の両立はできないと考える = 思い込み・理解不足

相談者が気づいていない問題
= 裏に隠れている
= 潜在化している

CC:この原因の解消・見直しをCCと一緒に
考えてみませんか？〇〇さんはどう
お考えですか？

CL:そこには気づいていませんでした。
やってみたいと思います。

④

⑤ 原因解消の具体策の提示(話のポイント)

- 1) 上司の注意・叱咤は部下の成長の為、周りに聞いてみる、先輩に聞く、仕事COMの理解
- 2) 両親の考えの確認。介護支援制度の理解、妻の働き方の見直し、夫の会社の支援制度
- 3) 会社の子育て支援制度、家族(夫、親)の理解協力、両立している先輩に聞く、状況の変化お理解
- 4) 出向のメリットに目を向ける、それぞれの不安材料を一人で考えないで相談する(家族、上司)
- 5) 現職の働き方見直し、職場の支援制度、介護支援制度の理解、家族の話し合い(協力)、義母の本音

第3段階の重要性をCCと医師との比較

第3段階の無い面談はどちらも「素人会話」

医師の進め方 (基本的に同じ流れ)

CCの進め方基本

皆さんのロープレ失敗例

第1段階

患者 来診
症状「熱が下がらない等」訴える(主訴)



相談者来談
困っていることの話
を聴く

相談者来談
困っていることの話
を聴く

第2段階

医師からの問診
診察・検査等



質問で相談の理解深
め原因を探る

質問で相談を聞くが
無駄、どうどう巡り
が多い

第3段階

診察結果の
熱が下がらない原因
(病名)伝え・説明

医者は特定できる
CCは見立て同意を
得て先に進める。
理由は心の問題だから

CCの見立て(原因)の
説明し気づきを促し、
同意得る

第三段階が
曖昧だったり
飛ばして行わない
失敗がよくある

第4段階

この病気を治すため
の処方箋説明

どちらも原因が
定まったから
治す方法が考えられる

この原因を解消する
為の方策の提案

単に方策をいろいろ
話すが相談者は半信
半疑

ここを
改善強化
しよう!

その後の
ステップ

投薬、手術 等

これで辛さ悩みが
解消できると思う
から継続努力する

CLがその方策を行動
に移す

本当に納得していない
から本気でやらない

病気が治る



CLが自主的に解決

解決にいたらない